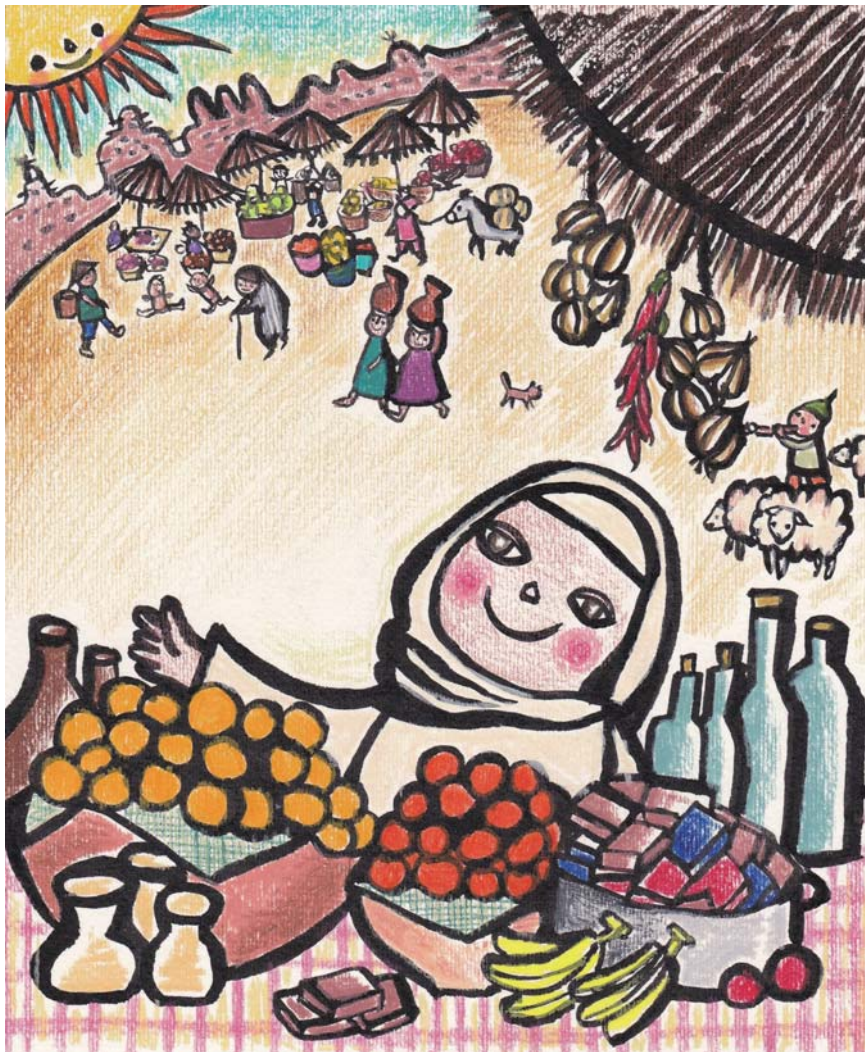


れい わ ねん ど  
令和2年度  
ぶん かげい じゅつ こども いくせい そうごう じぎょう じゅんかい こうえん じぎょう  
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

げきだん かせ こ じどうげき こうえん  
劇団風の子 児童劇公演

かせ こ  
風の子バザール



ぶん かげい じゅつ こども いくせい そうごう じぎょう じゅんかい こうえん じぎょう  
「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

# かぜ こ 風の子バザール



山口 舞／坂田 如  
(ダブルキャスト)

金田 拓／竹添 秀憲  
(ダブルキャスト)

■出演者  
羽生田正明

■劇をつくった人  
構成演出 藤井郁夫  
美術 岸賀二朗  
音楽 菊池大成  
振付け 吉岡大子  
衣装 小峯三奈  
制作 浅野井優子

## 上演にあたって

バザールとは、日本語で「市場」という意味で、野菜や果物や魚や肉や衣類やおもちゃが売られていたり、即興詩人や手品師、へビ使いや辻音楽師などがいたりします。

世界中、人間生活のあるところ、かならず市場があり、そこにはその国の人たちの生活がいまじついています。民衆の喜び、悲しみ、楽しさ、苦しき、いろんな思いがまじりあいながら、活気にあふれています。そこは世界を知り、さまざまな国や民族の生活や文化を知り合う、かけがえのない貴重な場でもあるのです。

私たちは、経済生活の意味だけではない市場（バザール）の文化的な価値を、小さな友人たちにかけてもらいたくて、この「風の子バザール」をつくりました。

どうぞ、世界各国、各民族の生活と風土の香り高いお話や、歌、踊りなど、いろいろな特産品を味わってみてください。他者を知り理解する能力を子どもの中から養うことが、きっとこの地球人類を、今日のさまざまな危機的状況から救い出すことになるだろうことを信じて、私たちのささやかな願いをこめた「バザール」をここに贈ります。





## ギアッコと豆

イタリアの民話

「世界の民話」  
美業之日本社刊より

ひと粒のママしか持っていない少年ギアッコが旅にでました。言葉あそびとマイムと笑いの、おらかな作品です。

世界のお話でてこーい!



## ヒヨコと大ネコ

ミャンマーの民話

「世界の民話」  
美業之日本社刊より

大ネコにつかまったヒヨコは「助けておくれよ、おかしをあげるから」と約束をしますが…。市場に売られている、いろいろなものを使って演じます。

珍しい話

不思議な話

愉快な話

## 笛吹きイワーヌシカ

ロシアの民話

(ミハエル・ブラートフ作  
偕成社刊より)

イワーヌシカは笛が大好き。イワーヌシカの奏でる笛の音が、欲ばりなひつじ飼いの夫婦をこらしめるお話です。



さあさ

よってらっしゃい  
みてらっしゃい

知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。  
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

げきだんかぜ

## 劇団風の子について

劇団風の子は、第2次世界大戦が終わってすぐの1950年に、子どもたちのための専門劇団になろうと創立しました。それからもう70年になりますが、ずっと日本中の学校をまわったり、世界のいろいろな国の子どもたちに劇をみてもらってきました。

劇をしながら、世界が平和になることや、子どもみなさんが、自分の目で物事を見、自分の頭で考え、自由に未来にはばたいていってくれることを願っています。



劇団 風の子

〒192-0152 東京都八王子市美山町1320-1

TEL042(652)1001 URL <http://www.kazenoko.co.jp> E-Mail [tokyo@kazenoko.co.jp](mailto:tokyo@kazenoko.co.jp)